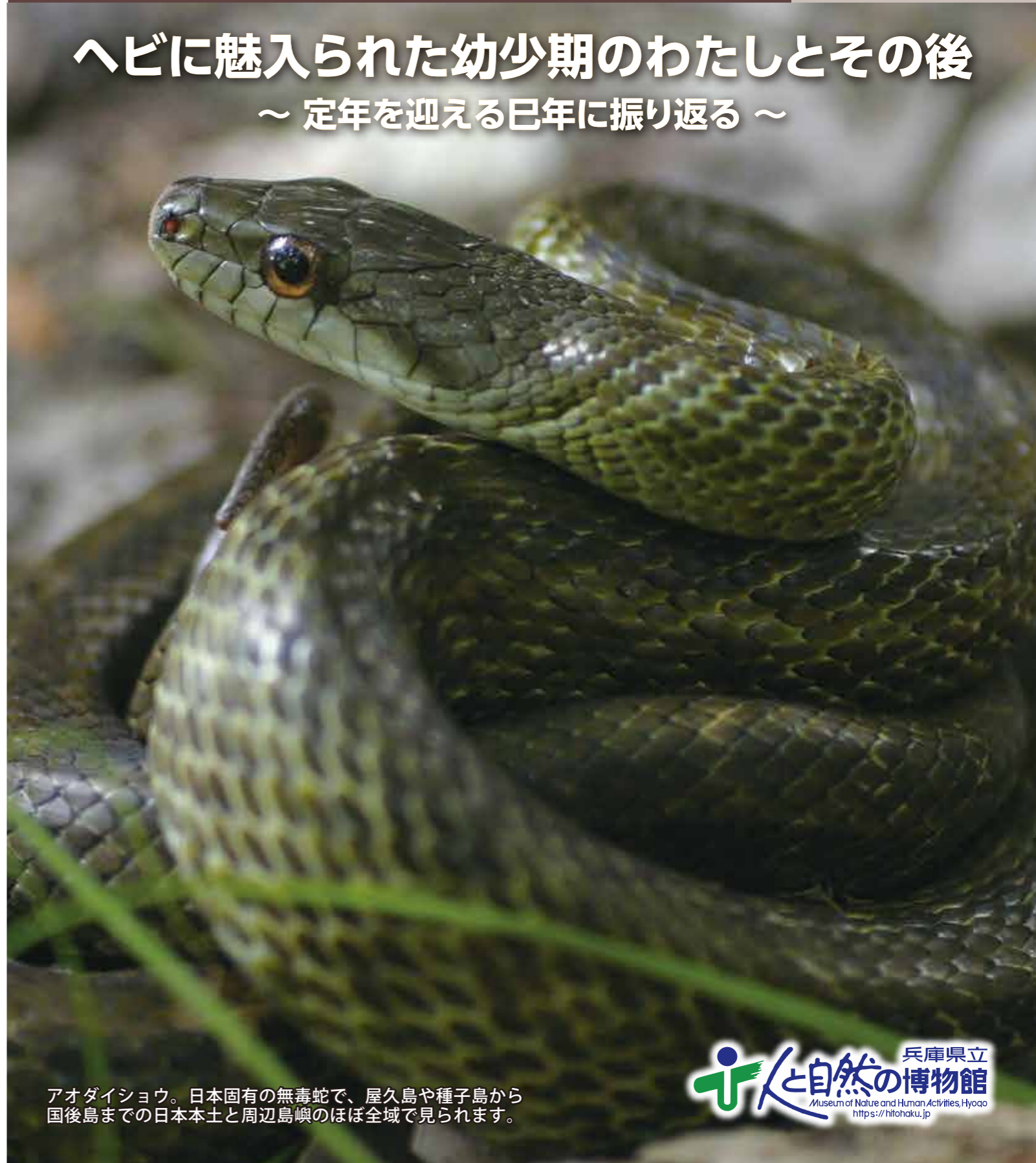


ハーモニー

へびに魅入られた幼少期のわたしとその後 ～ 定年を迎える巳年に振り返る～



コラム 初のホロタイプ標本寄贈 山本将也植物標本コレクション2024

山本将也さん(兵庫教育大学講師)は、日本の様々な絶滅危惧植物の研究をされています。ひとはくの植物標本庫にも度々調査にお越し頂いており、最近執筆とシソ科タツナミソウ属植物の研究を一緒に行っています。昨年の10月ひとはくに来館され、タツナミソウ属のDNAサンプルと一緒に標本を寄贈いただきました。渡し際に「タイプ標本なので」と仰っていたのですが、包みを開けると山本さんが記載されたシモキタコ



写真1 シモキタコザクラ(山本将也氏撮影) 写真2 シモキタコザクラ ホロタイプ標本

ザクラ(写真1)のホロタイプ標本が出てきてびっくりしました。(写真2)タイプ標本とは新規分類群を設立するとき指定する、学名を担保する学術的に大変重要な標本です。アイソタイプ、パラタイプなど幾つか種類がありますが、ホロタイプ標本は最重要標本であり信頼性の高い標本庫に送ります。ひとはくの植物標本の中には100点近いタイプ標本がありますが、ホロタイプは、元々ひとはくにあった標本と研究員が新種記載した植物の2点だけでした。山本さんがひとはくにホロタイプ標本を寄贈下さったこと、嬉しくて涙がでそうになりました。

高野 温子(自然・環境評価研究部)

トピックス

博物館のお仕事「植物標本整理」

植物標本とは、乾燥させた植物を採集地、採集日、採集者などの情報を記入したラベルと共にラミントンテープという熱を加えると裏面の糊が溶ける特殊なテープで台紙に貼り付けたものです(写真3)。

ラベルは台紙の右下にと決まっていますが、植物はラベルを隠さないようにして、

1. 自然に生えているように見えるように
2. 花や実がよく見えるように
3. テープをなるべく目立たせず植物を邪魔しないように

ということに気を付けながら貼ることが大事です。



写真3 植物さく葉標本



写真4 植物標本制作の様子

テープは、茎や幹にピッタリ添わせて貼らないと経年で端から浮いてくることがあるので、コテで熱を加えてしっかりと貼りつけます(写真4)。テープをたくさん付けると標本が綺麗に見えなくなりますし、少なすぎると標本が浮いて葉や花を痛めてしまいますので適度が難しいです。今後も大事な標本を丁寧に貼付けしたいと思います。

佐藤 順子(自然・環境評価研究部)

